

2023年2月14日

ATENA 訓練課題検討WG

事業者防災訓練における第3者レビューの実施方針について

1. はじめに

事業者が行う防災訓練の評価は、事業者間ピアレビューに加え、第3者によるレビューを実施する方向で検討を進めている。

第3者によるレビューは、以下の2つの視点から実施する。

(1) 緊急時対応能力（事業者防災訓練）の客観的な評価

同一組織の第3者が、事業者間ピアレビューで使用する評価チェックシートを用いて、複数年かけて全事業者（全発電所）の防災訓練のレビューを行う。

(2) 事業者とは異なる視点からの気づき・課題の抽出

(1)に加えての更なる取り組みとして、各事業者の実情に応じ、海外レビューワ・大学関係者・他産業の実務者等から防災訓練のレビューを受けることで、事業者とは異なる視点からの気づき・課題を得る。

2. レビューの実施内容

「(1)緊急時対応能力（事業者防災訓練）の客観的な評価」を目的としたレビューの実施内容を添付資料-1に、「(2)事業者とは異なる視点からの気づき・課題の抽出」を目的としたレビューの実施内容を添付資料-2示す。

なお、2022年度、2023年度は、本内容に基づき試行の位置づけでレビューを実施し、その結果を踏まえ、必要な実施内容の見直しを行う。

3. 今後のスケジュール

- 2022年度は、本取組みの試行として中国・中部の2社を対象に、(1)の観点から、共通の評価チェックシートを用いた第3者によるレビューを実施する。また、中部においては、(2)のレビューも実施する。
- 2023年度における(1)のレビュー試行対象は、第3者レビューワと事業者

間で調整の上、決定する。

- 実施可能な社は、2023 年度に各社の実情に応じ、(2)のレビューの試行を検討する。
- 2022 年度、2023 年度の試行結果を踏まえ、2024 年度から正式運用を開始する。

4. 添付資料

- (1) 緊急時対応能力（事業者防災訓練）の客観的な評価を目的とした第3者レビューの実施方針
- (2) 事業者とは異なる視点からの気づき・課題の抽出を目的とした第3者レビューの実施方針

以 上

緊急時対応能力（事業者防災訓練）の客観的な評価を目的とした
第3者レビューの実施方針

1. レビューの目的

事業者防災訓練について、同一組織の第3者が、事業者間ピアレビューで使用
する評価チェックシートを用いて、複数年かけて全事業者の防災訓練の
レビューを行う。

2. レビューの制度設計

(1) レビューワ

第3者レビューワは、事業者の防災訓練に精通している、原子力安全推
進協会（JANSI）技術支援部に依頼する。

(2) レビュー対象訓練

事業者防災訓練（NRA 評価対象訓練）を対象とする。（原子力事業者間の
ピアレビューで対象とする訓練と同じ。）

(3) レビュー実施箇所

各社の緊急時対策所（発電所）及び即応センター（本店）とする。

(4) レビュー方法

事業者間ピアレビューと同じプロセスで、事業者間ピアレビューで使用
するチェックシートを用いてレビューを行う。

レビュー対象となる発電所は、レビューワのスケジュールを踏まえて選
定する。複数年かけて全発電所をレビューできるよう考慮する。

(5) レビュー形式

現地でのレビューを基本とする。

なお、新型コロナウイルス等の影響により、現地訪問が難しい場合は、
DVD によるレビューも許容する。

3. その他留意事項

事業者間ピアレビューでは、発電所の現場活動も評価対象に含めているが、第三者レビューは本内容に不慣れであることを踏まえ、第三者レビューの対象外とする。

以 上

事業者とは異なる視点からの気づき・課題の抽出を目的とした
第3者レビューの実施方針

1. レビューの目的

事業者防災訓練について、事業者・NRA 以外の組織に所属する第3者からレビューを受けることで、異なる視点からの気づき・課題を抽出し、緊急時対応能力の向上につなげていく。

2. レビューの制度設計

(1) レビューワの候補

第3者レビューワは、以下を候補に、各社の状況に応じて打診する。

【第3者レビューワ候補】

- ・研修や委託等で接点のある大学教授等の有識者
- ・地元の消防、警察、海保、自衛隊等の実動機関の担当者
- ・プラントメーカ、原子力安全推進協会等の関係者
- ・原子力研究施設、原子燃料施設等の関係者（JAEA 等）
- ・技術交流のある海外の原子力発電事業者のスタッフ（※）
- ・WANO ピアレビューワ（※）

（※） 海外レビューワについては、各社の海外技術交流や WANO ピアレビュー等の日程を踏まえ、当該日程と防災訓練が重なる事業者において、レビューを打診する。

また、第3者レビューワが継続的な活動になるよう、各社の第3者レビューワ(候補者も含め)をDBとしてリスト化し、各社間での共有をはかる。

(レビューの実績が増えていくのに合わせて、DBは各社で都度更新し、充実化を図って行く。)

(2) レビュー対象訓練

事業者防災訓練（NRA 評価対象訓練）を対象とする。（原子力事業者間のピアレビューで対象とする訓練と同じ。）

(3) レビュー実施箇所

各社の緊急事対策所（発電所）或いは即応センター（本店）とする。

(4) レビュー方法

事前打合せ（通信ベースを含む）を通じてレビュー内容・項目を調整した上でレビューに臨んでもらうことを基本とする。

レビューで使用する評価チェックシートは、原子力事業者間のピアレビューで使用するチェックシートの該当する部分を流用することも、個別のチェックシートを作成することも許容する。先方が個別のチェックシートを作成せずに自由にレビューすることを望む場合は、それも許容する。

(5) レビュー形式

現地でレビューを実施する。

新型コロナウイルス等の影響により、現地訪問が難しい場合は、第3者レビューは見送る。（DVDによる評価は、事業者防災訓練の内容全般に精通していることを前提としており、第3者レビューワには馴染まない。）

訓練後、事業者と第3者レビューワで意見交換を行うことを基本とする。（意見交換は、他事業者等の第2者と一緒に実施することも可能とする。）

3. その他留意事項

事業者とは異なる視点からの気付き・課題の抽出を目的とした第3者レビューは、各社の状況に応じて第3者に依頼を行うものであり、先方の都合や意向が合わない場合にレビューを断られる場合が考えられる。こうした理由から適当な候補者が見つからない年度は、不在を可とする。

また、複数の発電所を有する事業者については、同一年度に複数の発電所を対象に第3者レビューを実施するか否かは、各社の状況に応じてレビューワとの調整を踏まえ、決定する。

以 上